



上小っ子

学校 HP <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/>

発行者 校長 雨宮 基博

TEL 0554-62-3104

一人一人が自立して学習する子どもを育む！ 高学年研究授業

本校は、山梨県教育委員会より令和5・6年度「新たな学びに向けた授業改善推進校」の指定を受け、ICT機器を活用し「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図った児童主体の授業づくり」それを支える「教師のあり方」の研究に取り組んできました。

10月30日（水）には、その成果を生かした公開授業研究会を実施し、5年1組担任の八木裕行教諭が国語の研究授業を行いました。国語『もう一つの物語』の学習で、「読む人を意識して物語の構成を考えよう」をめあてに授業を行いました。これまでの学習成果が示され、子どもたち自らが「友ティーチャー」となり、今日の学習のめあてを確認するところからスタートしました。子ども同士のやり取りから自分たちで学習を進めようという意欲があふれていました。その後、担任が補足説明し、物語の構成メモづくりを行いました。一人一人が集中し構成メモづくりに取り組む姿が見られました。構成メモづくりが終わると、友だち同士で読み合う姿が自然と生まれ、友だちとの繋がりやの深まりが感じられました。山梨県下の先生方、山梨県教育委員会・上野原市教育委員会の方々、大学の先生等多くの参観者が見守る中、子どもたちの意欲あふれる姿がたくさん見られました。

研究授業後の授業研究会では、本校の教職員は、山梨県下の先生方と「子どもたち一人一人が目標を持って主体的に学びを楽しむ」「仲間と対話しながら協働して学びを楽しむ」授業づくりに向けて熱心な討議を行いました。本校は、今後も「楽しい学校、上野原小」の実現のために、主体的・対話的に学びを楽しむ「子ども中心の授業づくり」に取り組んでいきます。



人と人との絆を深める11月にしよう！

学校集会

11月6日（水）に学校集会を実施しました。コロナを経て、オンラインで各教室で視聴する形式で進めています。今回の校長講話は「見えないものを感じてみよう」をテーマに話しました。「見えないけどあるものなーに」というなぞなぞから、金子みすゞさんの「星とたんぽぽ」の詩を紹介しました。そして「給食のメニュー」の写真から調理員さんの想いも感じてみようと話しました。人の愛情、友だち同士の友情など、見えない想いも心で分かろうとすることの大切さを伝えました。全校で人と人との絆を深める11月にしたいと思います。

人と人とのきずなをふかめる 11月にしよう！

- ①みえないものをかんじてみよう。
愛情(あいじょう)・友情(ゆうじょう)
- ②かんじたことをことばでつたえよう。「ありがとう」

4年生 秋の校外学習

4年生は、10月31日（木）に甲府市にある「県立科学館」に秋の校外学習に出かけました。県立科学館での見学や体験を通して科学の楽しさを知ること、甲府盆地の地形の様子を知ること、さらに、集団活動を通して協調性、自主性を養うことなどを目的としました。みんなで学ぶ気持ち、みんなで楽しむ気持ち、お互いを思いやる気持ちを大切に、楽しい校外学習にすることができました。



2年生 秋の遠足

2年生は、11月5日（火）に秋の遠足で多摩動物公園に行きました。当日は班行動を行いました。各班に帝京科学大学の学生さんがついて、動物の先生として動物の説明を丁寧してくれました。動物への興味が一層増したと思います。この帝京科学大学との連携・協力の取組は、2005年から始めています。今後も帝京科学大学との連携・協力を大切に教育活動の充実に努めていきます。

